

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	経済学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）

○2009年度からの目標

1. G P A (Grade Point Average) の実質化（例、課程修了認定、奨学金推薦、および研究科進学、などの要件）により、学生の経済学専門能力の水準を引き上げる。
2. E R E (Economics Record Examination: 経済学検定試験) や日経 T E S T による経済学専門能力の単位認定をする。
3. ゼミナール（基礎演習や研究演習）活動を報告、公表する。

○指標

1. 卒業時における G P A。G P A に基づく奨学金獲得者数や研究科への進学者数。
2. E R E (Economics Record Examination: 経済学検定試験) や日経 T E S T の受験者数とその成績（平均点）。
3. H P でのゼミナール活動に関する報告の公表、更新。および、アクセス数。